

専門教育科目 講義科目

科目名：	税理士のための財務諸表論V		科目コード	EJ30
科目主査：	齊藤 聡	担当講師：	宮地 昌之、依田 朗裕	
			単位	2
			配当年次	3・4
授業の目的と概要		グループワーク：	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク：
			<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
<p>本科目の目的は、財務諸表論を学習し、企業の財務データを分析し、理解する力を身に付けることです。また、財務諸表を作成する基礎知識を得ることです。財務諸表論は、範囲が広く膨大な学習が必要になります。E J 26～E J 30（税理士のための財務諸表論 I～V）を学習することで、全範囲の基礎学習が完了します。簿記の基礎知識が必要なため、「税理士のための簿記論」と同時に履修するか、「税理士のための簿記論」を先に履修することを推奨します。 *EJ29（税理士のための財務諸表論IV）からの継続授業となります。税理士になるために、大学院への進学も勧めています。</p>				
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：		
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、重要点や分からない点・理解に自信のない点についてマーキングし、質問ができるようしておきましょう。			
テキスト	『税理士 財務諸表論の教科書&問題集（5）』TAC税理士講座（編），TAC出版，最新版			
この科目の到達目標	<p>①財務諸表を作成することができ、財務諸表を分析して、企業の問題点を把握し、その解決策を策定することができる。 ②企業会計において、経営者の相談にのり、財務面からの経営支援のアドバイスができる。*E J 26～E J 30（税理士のための財務諸表論 I～V）全体としての到達目標となる。</p>			
成績評価の方法	<p>授業への参画度が重要になります。出席、提出物、試験で成績評価をします。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。</p>			
事後学習	授業中に取り上げられる会計処理は限られます。新聞、情報、ネットを利用して最新情報にあたりましょう。			
事後学習の参考文献	<p>『新版 会計法規集〔第11版〕』中央経済社，2019年 『税理士 財務諸表論 理論答案の書き方 最新版』TAC税理士講座（編），TAC出版 『税理士 財務諸表論 計算問題の解き方 最新版』TAC税理士講座（編），TAC出版</p>			
スクーリング受講時に用意するもの				
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 電卓（大きめが望ましい） <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。				